

第8分科会 未来を創る力の育成 ～「わかった!」「できた!」を実感できる学びを求めて～

大阪府教育センター カリキュラム開発部 小中学校教育推進室

子どもたちが未来社会を創り、よりよく生きるために、各学校では、学習指導要領の趣旨を実現し、資質・能力の育成をめざした授業づくりが求められています。そこで、「資質・能力の育成のためにどのような学習課題・学習活動が求められているのか」「資質・能力の育成が、子どもたちの未来社会にどのようにつながっているのか」について改めて考えます。資質・能力の育成の意義について理解を深め、「わかった!」「できた!」を実感できる子どもの学び、そして先生の学びについて、一緒に考えましょう。

実践発表(ポスターセッション)

大東市立南郷小学校(小学校国語科)	枚方市立枚方小学校(小学校算数科)
大東市立大東中学校(中学校数学科)	高槻市立阿武山中学校(中学校理科)
東大阪市立小阪中学校(中学校理科)	摂津市立第四中学校(中学校外国語科)
摂津市立鳥飼小学校(小学校校内研究)	吹田市立第六中学校(中学校校内研究)
八尾市立高安小中学校(外国語授業づくり研修)	

講演

「資質・能力の育成とウェルビーイングとのつながりについて」

西村 圭一(東京学芸大学 教職大学院 教授)

参加者のアンケートより

- ・ポスターセッション、講演会ともに充実していました。勤務校へ帰り、得た知見を実践に生かしていきます。
- ・今日1日を通して三学期からの子どもたちとの関わり方をもう一度見直そうと思いました。子ども一人ひとりアセスメントできているのか。授業や生活の時にゴールを持ってそれにあった活動ができているのか。自分の授業を改善していこうと思いました。
- ・改めて子どものウェルビーイングの向上に向けて、学年、学校、市のベクトルを揃えることの重要性に気づきました。